

川崎市議会第4回定例会は5、6の両日、代表質問を行い、矢沢孝雄（自民党）、雨笠裕治（みらい）、平山浩二（公明党）、後藤真左美（共産党）、那須野純花（川崎・維新の会）の5氏が質問に立った。10、11月に川崎市内の3会場を中心に開催された「全国都市緑化かわさきフェア」の来場者数を計約94万人とした速報値について、計測方法や春開催に向けた課題が取り上げられ、市は「計測方法の精度向上に努める」「来場者アンケート分析等による検証や関係者ヒアリングの実施により、意義深いフェアとなるように進めて参ります」などと答えた。

（小林 剛）

6.12.16
川崎市議会論戦から

緑化フェア
春開催に向け検証

矢沢 孝雄氏 学校体育館 等への空調設備設置状況

会報告の在り方の見解と対応は。



等への空調設備設置状況で、9月に文部科学省が公表した設備率は18.9%と上昇しているが、川崎市は4.9%。取り組みの遅れは深刻と指摘せざるを得ない。

池之上 健一教育次長 体育館よりも特別教室への整備を優先してきた結果。気候変動による熱中症対策の必要性や災害の発生状況を踏まえるなど、空調設備の整備は重要な課題の一つ。



宮崎 伸哉まちづくり局長 丁寧な報告が重要と考えている。引き続き市民意見を伺いながら方向性を取りまとめ、適切な時期に市議会にご報告させていただきます。

雨笠 裕治氏 新百合ヶ丘 駅周辺地区まちづくり方針（案）では市民意見が反映されている。



令和7年度策定を目指す「基本的な考え方」の策定前の議

後藤 真左美氏 高圧ケーブルの絶縁不良が原因の停電では、問題を引き起こすメーカー、製造時期も分かっている。高圧ケーブルは全国的にも品薄となっている。市の対応状況は。



三田村 有也副市長 毎年実施する定期点検では絶縁不良の不具合は確認されていないが、一部の施設で想定より早い劣化が見られる状況。市民サービスへの影響がないよう対応する。

那須野 純花氏 「みんなの川崎祭」に



は約3千万円の予算が組まれ、来年度以降も継続することを見込んでいる。各区の区民祭と統合するなど新たな枠組みを検討すべきだ。

白鳥 滋之総務企画局長

小杉や溝の口、鷺沼、登戸、新百合ヶ丘など市内各地で今後より一層、公共空間の有効活用を図り、都市の魅力向上や地域の活性化を進める。

石渡 一城健康福祉局長 補整下着やエビテーゼの使用によって心理的苦痛の軽減につながる方がいることも把握した。早期に開始できるように関係局とも協議を進めている。

求めた請願が採択されたが、補整下着や人工乳房等、幅広く助成対象とすべきだ。見解と今後の取り組み